

吉胡貝塚とは

吉胡貝塚は縄文時代後期の終わりから晩期、弥生時代前期にかかる遺跡です。遺跡は、先人が生きた証や知恵、歴史などの証拠を示す一つです。

大正11年と12年に京都大学の清野謙次博士が発掘調査を行い、300体を超える人骨が発見され有名になりました。これは、この遺跡の特徴のひとつです。

昭和26年に文化財保護委員会（現在の文化庁）が実施した発掘調査（国営第1号）では、土器、石器、骨角器、縄文人骨など多くの資料が出土し、その重要性が認められ昭和26年12月26日に国指定史跡となりました。

吉胡貝塚史跡公園の概要

縄文時代の人々がどのような暮らしをしていたのか想像もつかないことがですが、遺跡の発掘調査、考古学の研究から当時の暮らしの一端を復元することができるようになりました。

その時代の様子や暮らしの様々な工夫を知ってもらいたいことから吉胡貝塚は史跡公園として整備されました。

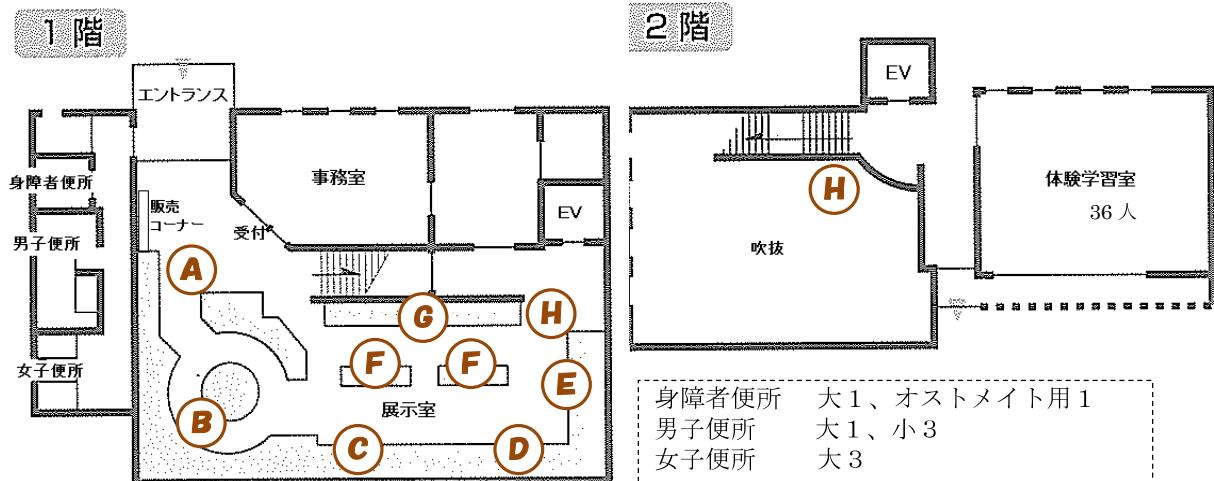
公園内には、発掘調査で出土した貝塚そのものを見ることができる屋外展示施設や、出土品等の展示と史跡を解りやすく紹介した資料館があります。また資料館にはさまざまな体験ができる学習室もあります。



公園



資料館



資料館の展示は、AからHの8つのテーマで構成されています。

- A 導入展示
- B 吉胡貝塚ものがたり
- C 貝塚からわかること
- D 自然と調和するくらし
- E 海が育む文化と人の足跡
- F 骨が語ること
- G わたしたちのこころ
- H くらしの風景（上層ジオラマ）



団体向きの体験



火おこし体験

所要時間：約1時間 無料
定員：50人程度（1回）

古代の発火法、ヒモギリ式という方法で火をおこす。

学べること

1. 火おこしの大変さを知り、火が起きる仕組みや火の大切さを学ぶ。
2. 最初の作業からお互い協力し行なうことで、協調性を学ぶ。
3. 火おこしが成功すると自然に歓声がわき、達成感や満足感を得ることができます。

手順

1. 麻ひもをほぐし火口を作る。（10分）
2. 道具を使って火種をおこす。（20分）
3. 火種を火口に包み空気を含ませ、火を大きくする。



注意点

- ・火がつくと一瞬で大きな炎になるので、やけどの注意する。
- ・外で行なうため、多少汚れても良いズボン等を着用する。
- ・火が燃え移らないように、ヒラヒラした服は着用しない。髪が長い子は束ねる。
- ・あらかじめ、3～4人を一組として班分けをしておく。

※火おこしは難しいため、火がおきない場合があります。



貝塚の土を洗ってみよう

※吉胡貝塚資料館でしかできない体験講座です。

所要時間：1時間 無料
定員：30人程度（1回）

貝塚の土を洗い骨や土器のかけらなどを見つけだし、実際に触れることができる。

学べること

1. 貝塚にはどのようなものがあるか知ることができ、3000年前の人々はどの様なものを食べ、利用していたのか、当時の自然や暮らしを知ることができる。
2. 土の中で長時間経過すると物はどのように変化するのか知ることができる。

手順

1. 貝塚の説明を聞く。（10分）
2. 土を洗い落とし、遺物を探す。（30分）
3. 見つけた遺物の説明を聞く。（10分）
4. 使ったものを片付ける。（10分）



注意点

- ・雨天等悪天候の場合は中止
- ・あらかじめ3～4人を一組として班分けをしておく。
- ・外で水を使い土を洗うので汚れても良い服を着用する。

※見つけた遺物は持ち帰ることはできません。後日、資料館の展示室に展示する場合もあります。

※遺物に説明を添えた写真と、来園し体験したときの写真を後日学校にお届けします。

団体向きの体験



3 石器づくり体験

所要時間：1 時間 200 円
定員：30 人程度

縄文人が好んで使った黒曜石を使い、石のナイフを作る。

学べること

1. 縄文人が使用した石から作られる道具の使い方、作り方を知ることができる。
2. 石の特徴と加工の方法がわかる。

手順

1. 石器や体験の際の注意点・説明を
2. 石を割り道具として使える大きさ
3. さらに使いやすく細かい加工をす
4. できた石器を実際に使ってみる。

中止



注意点

- ・石を割ったときに飛んだ破片で怪我をすることがあるので、長袖、長ズボンを着用するなどし肌を保護する。(ゴーグル、皮手袋は用意します。)
- ・割れて薄くなった部分は鋭く切れやすいので、素手で持たないなど注意する。



4 昔の道具に触れてみよう

所要時間：30 分 無料
定員：50 人程度

復元した石斧などの道具に触れることができる。弓矢は実際に射ることができる。

学べること

1. 昔の道具の重さや扱いなどが体感でき、道具を使うことの大変さを知ることができる。
2. 貝塚から見つかったイノシシやシカの標本に触ることで、本物の手触りや質感がわかる。

体験

- ・展示してある道具を手にする。
- ・標本に触れる。
- ・公園で竹の弓矢を射る。



注意点

- ・石斧などの道具類は実際に使用することはできない。
- ・石のナイフは刃の部分を触ると切れがあるので注意する。
- ・弓矢体験は雨天中止。
- ・弓矢は必ず職員の指示に従い、矢が当たると危険なので射る人の前に立たない。

団体向きの体験



貝のアクセサリーブル

所要時間：30分
定員：30人程度
100円

縄文人も太平洋岸まで貝を拾いに行って作ったアクセサリーを、現代風に作る。

学べること

1. 太平洋岸と三河湾岸に流れ着く貝の違いと、貝の美しさ・形・名前を知ることができる。
2. 貝とビーズの組み合わせを工夫し、作る楽しさを知ることができる。

手順

1. 材料を選ぶ
2. 貝にひもを通す穴を開ける。
3. 貝とビーズをひもに通して結ぶ。



注意点

- ・穴あけに使う金属ヤスリの取り扱いに注意
- ・貝に穴を開ける際、貝が割れることがあるので注意
- ・人数が多い場合や体験の時間が短い場合は、あらかじめ穴を開けた貝（貝の種類は選べない。）を使うことがある。



まが玉づくり

所要時間：1時間30分
定員：30人程度
300円

滑石を使い、まが玉を作る。

学べること

1. 現在のような便利な道具もない時代に、石や木を使い形作って磨き作った大変さを知る。
2. まが玉がどの様に使われていたのか知ることができる。

※この体験では、時間を短縮するため軟らかい石（滑石）を使用します。

手順

1. 作りたい形を決め、石に下書きをする。
2. 石を削って形を整える。（1・2で60分）
3. 水をつけて磨く。（20分）
4. まが玉にひもを通して結ぶ。（10分）



注意点

- ・石を削ると細かい粉が沢山出るので汚れても良い服を着用する。
- ・滑石は爪でも傷が付くほど軟らかいため、落としたりぶつけるとまが玉に傷が付きやすい。
- ・低学年では最後まで一人で作ることは難しいため、付き添いを必要とする。

団体向きの体験



縄文の造形（マグネット）

所要時間：1時間 100円
定員：30人程度

オープン陶土を使って好きな形を作り、オリジナルマグネットなどを作る

学べること

- 縄文時代の土偶はどのようなものだったのか知ることができる。
- 自由に形や文様を製作でき、自分の考えたものを形にできる。

手順

- 粘土をこねてやわらかくする。
- 手で好きな形を作る。
- オーブントースターで焼く。
- マグネットシートをつける。

中止



注意点

- 粘土を扱うため汚れても良い服を着用する。
- オーブントースターで1度に焼ける量が限られ、焼いている時間が空くことがある。
- 自由に形を作る場合は、形が決まらず時間がかかる場合があるので、事前に形を決めておく。
- 接合が不十分だと焼いているうちに割れたり、接合部分が取れることがある。



縄文の造形

所要時間：1時間 100円
定員：30人程度

オープン陶土を使って、古代の人たちのように土偶を作る。

学べること

- 縄文時代の土偶はどのようなものだったのか知ることができる。
- 手や道具を使って工夫することで見本の形や文様はどのようにして作られたのか考えながら製作できる。

手順

- 粘土をこねてやわらかくする。
- 見本を見ながら土偶を作る。
- オーブントースターで焼く。



注意点

- 粘土を扱うため汚れても良い服を着用する。
- オーブントースターで1度に焼ける量が限られ、焼いている時間が空くことがある。
- 立体は難しいので、うまく形がととのわないことがある。
- 接合が不十分だと焼いているうちに割れたり、接合部分が取れることがある。

その他の体験



鹿角のアクセサリーづくり

所要時間：2時間 500円
定員：30人程度

縄文時代から装飾品にも使われた鹿角を利用し、アクセサリーを作る。

学べること

- 縄文人はどの様にして鹿角を手に入れたのか、なぜ鹿角が使われたのかを学ぶ。
- 鹿角を磨くと輝き、装飾品としての美しさを知ることができる。

手順

- 材料を選ぶ。
- 道具を使って削り、形を整える。
- 表面が滑らかになるように磨く。
- ひもを通して結ぶ。



注意点

- 鹿角は硬く、削る作業に時間がかかる。
- まが玉よりもかなり成形しにくく、大人でも根気が必要な作業になる。
- 鹿角の部位は自由に選べません。（先端の部分が良いなど）

その他

吉胡貝塚資料館では、教員向けの研修や職場体験等も行っています。内容や時期については、ご相談ください。

また、一般向けの特別体験講座も行っています。授業にも役立つと思いますのでご利用ください。

平成25年度の特別体験講座の内容（講座名と異なるものもあります。）

- | | |
|---------------|----------------------------------|
| ・アンギン編み | 縄文時代から続く編み方でコースターを編む。 |
| ・オリジナル貝アクセサリー | 海岸に貝殻を拾いに行きオリジナルアクセサリーを作る。貝輪も作る。 |
| ・土と貝を使った染物 | 赤土と貝から染料を取りだして、自然の色でエコバッグを染める。 |
| ・ドングリクッキー | ドングリをすりつぶしてクッキーを作る。 |
| ・つる編でかごを編む | 山につるを取りに行き、かごを編む。 |
| ・ドングリを使った染物 | ドングリを使った草木染めで、2種類の媒染を使い2色に染める。 |
| ・貝のおひなさま | 貝に布を貼り手のひらに載るおひなさまを作る。 |
| ・土器で料理をする | 土器を使ってスープなどを作る。 |

吉胡貝塚史跡公園を利用する

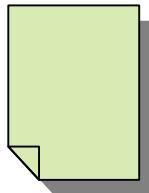
- ① 吉胡貝塚史跡公園へ
行く日を決める
(予備日も含めて)



- ② 電話で問い合わせ
(日程調整)



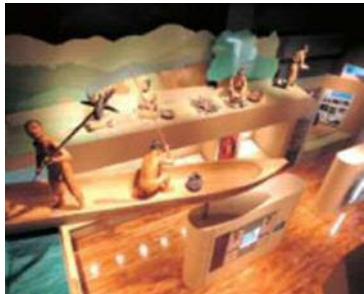
- ③ 減免申請を出す
(1ヶ月前)



- ④ 打ち合わせを行う



- ⑥ 吉胡貝塚史跡公園で学習



※自由見学をご希望の場合は、ワークシート（P15, 16）をご利用ください。

ワークシートが事前に必要な場合は、PDFデータでお渡しできますのでご連絡ください。

連絡・問合せ先はこちら

〒441-3402

田原市吉胡町矢崎42-4

吉胡貝塚資料館

TEL: 0531-22-8060

FAX: 0531-22-8070

Mail : yoshigo@city.tahara.aichi.jp

URL : <http://www.yoshigo.gr.jp>



No.0 1、No.0 2は自由見学に適したワークシートです。

シェルマよしご ワークシート No.01

制作 吉胡貝塚資料館
2014.4 第一版

展示室を見ながら答えてみよう

展示室にあるものの中で、今まで食べたことのあるものを書いてみよう！

展示室で上を見てみよう！
舟から魚を獲ろうとしている男の人は、どんな道具を持っているでしょう？
絵で描いてみよう！

君が縄文土器を作るなら、どんな文様(模様)をつける？絵で書いてみよう！

展示室で土器を探して、文様をよく見てみよう！

君の縄文度は何パーセント？ 縄文度をチェックしてみよう！
※人気の多いときはひとり1回にして仲良く使ってくださいね

パーセント

シェルマよしご ワークシート No.02

制作 吉胡貝塚資料館
2014.4 第一版

展示室をまわって答えを探してみよう

1 よしごかいづか
吉胡貝塚は
じだい 時代
かいづか
の貝塚です。

2 19号人骨(ヨシさん)は
かい 貝のアクセサリー(輪っか)を
つけています。

3 上を見てみましょう。
舟に乗っている人は
何をしているでしょう？

4 じょうもんじん
縄文人は
を
ペットにしていました。

5 盤状集骨墓という、骨を
ある形に並べたお墓があり
ます。どんな形に並べ
られているでしょう？
絵で描いてみよう！

6 じょうもんじん やよいじん
縄文人と弥生人
身長が低いのは
どちらでしょう？

No.0 3はガイド付きの見学にご利用いただけます。

	シェルマよしこ ワークシート No.03	製作 吉胡貝塚資料館 2014.4 第一版
ガイドの人の話を聞いてわかったことを書きましょう		
①吉胡貝塚はどんなところですか？		
②吉胡貝塚はどんなところが日本で一番ですか？		
③吉胡貝塚からは何が見つかりましたか？		
④外の白いテントの下(断面展示施設)の穴の中には何がありますか？		
⑤吉胡貝塚の人達はどんな生活をしていましたか？		

※ ワークシートのご利用についてはご相談ください。
PDFデータをご請求いただく場合は、ワークシート
No.をお伝えください。
ワークシートNo.0 1～0 3以外のワークシートや館内
クイズもありますのでご相談ください。

☆ワークシートのサイズはA4です。

様式第1号(第3条関係)

		主査	副主幹	課長	部長	
観覧料減免申請書						
年　月　日						
田原市長 殿						
住所 氏名 連絡先() —						
吉胡貝塚資料館観覧料の減免をお願いします。						
団体名						
観覧日	年　月　日()					
理由	(1) 教育課程に基づく教育活動 (2) その他()					
※区分	減免後の金額					
	小・中学生	人				円
	一般	人				円
計	人				円	
※ 備考						
受付年月日						
許可年月日						

注 ※は記入しないでください。

記入例

様式第1号(第3条関係)

		主査	副主幹	課長	部長	

観覧料減免申請書

平成26年 4月10日

田原市長 殿

学校の住所、学校名、校長の氏名を記入し校長印を押印してください。

住所 田原町南番場30
氏名 田原市立文化小学校

校長 田原一郎

連絡先の電話番号、担当教諭の氏名を記入してください。

連絡先(0531) 23-3635
6年学年主任 原田華

吉胡貝塚資料館観覧料の減免をお願いします。

団体名	田原市立文化小学校 6年生		
観覧日	平成26年 5月 23日(金)		
理由	(1) 教育課程に基づく教育活動 別紙計画書のとおり (2) その他 ()		
※区分	小・中学生	人	円
	一般	人	円
	計	人	円
※備考	学習等の目的、行動計画等を記載したもの添付してください。 例) 授業の単元のカリキュラムや 校外学習計画書等		
	受付年月日		
	許可年月日		

注 ※は記入しないでください。